

MK STYLE

栗原医療器械店 人材像コミュニケーションマガジン

vol.2
2022/03

2 KURIBARA's CARTE

- 4 一問一答 “自律／自立” な人の本音
- 5 栗原の週末。
- 6 About, MK STYLE

選ばれ続けるパートナーへ
株式会社 栗原医療器械店
KURIBARA MEDICAL INSTRUMENTS



IT&ディストリビューション本部

ITマネジメント部

川口 萌香さん



支えてくれる。応援してくれる。 その気持ちに、自分の力で応えたい

—— みんなが応援し、背中を押してくれる。

だから、挑戦できる

高校では情報系を中心に10の資格を取得。卒業後の進路を考えたとき、学校の先生に「誰かの役に立てる会社で働きたい」と伝えたところ、栗原医療器械店をご紹介いただきました。入社前、同じ学校から入社した先輩方にお話を伺う機会があったのですが、皆さん口を揃えて「社員思いの良い会社だよ!」と言っていたのが印象的で。実際に入社してみると、なにか挑戦しようとする皆さん必ず背中を押していただきますし、困ったことがあれば必ずサポートいただける環境があります。そうした意味でも、栗原医療は社員が安心して仕事に打ち込める「良い会社」だと思いますし、改めて、先輩方が言っていたことは嘘ではなかったのだと強く実感しています。

—— システムと共に、栗原医療に欠かせない存在になる

入社以降、継続的に取り組んで来たのが「電子決裁システム」の導入です。社内に230ある申請について、所管する事業部に確認しながら何度もスケジュール調整を行い、1年半でようやく200帳票分の電子化を完了しました。途中何度も挫けそうになりましたが、「自分に負けたくない!」という一心で、なんとかこまごまできていきました。私が導入したシステムが、社内だけでなくはならないシステムにまで成長し、大きなやりがいにつながっています。今年度からヘルスケア事業部の受発注・請求システムにも携わるようになったため、システムに関する知識はもちろん、ヘルスケア関連の知識を深めながら課長のように一人でもシステムを維持、運用できるような人材へと成長していきたいです。

Profile

2018年、新卒入社。将来の進路選択の幅を広げたいと考え、高校は商業科へ進学。在学中に取得した「情報処理検定1級」の知識を生かし、ITマネジメント部で社内システムの導入・管理やPCやシステムのサポートなどを担当している。

冷静に、着実に。

だけど、自分の思いに正直に

—— 相手に合わせ、自分を変える。見える景色は変わった

入社したばかりの頃は「ただ営業に行っている」といった感じで、現場の気まずい空気に耐えかねてそそくさと帰ってしまったこともありましたが、しかし、ある先輩に同行した際、製品の話そっちのけでケアマネさんと楽しそうに話していただけなのに、後日あっさり商談がまとまっていたことがあって。「自分もこんな風に仕事ができたら楽しいだろうな」と思い、先輩の真似をしたのが今の営業スタイルにつながっています。まずは、ケアマネさんを良く観察して、その方に合った話し方でコミュニケーションを積み重ねていきます。そうして徐々に距離を詰めていくことで、なにかあったときには一番に思い出してもらえ、相談してもらえ、関係を築くことで少しずつ成果が現れ始め、営業として自信がついてきました。

—— 賢く、手堅く。でも、利用者様のためなら、突き進む

仕事をする上で一番のやりがいは、なんといっても利用者様からいただく感謝の言葉です。中でも印象的だったのは、会社のフリーダイヤルにきた、利用者様ご家族から感謝の電話ですね。担当エリアのケアマネさんが受け持つ患者さんが退院すると聞き状況を伺うと、どう考えても退院できる状況ではなかったんです。そこから、リハビリを担当している理学療法士さんにお話を伺い、自宅の生活環境など資料をまとめ、退院の判断を再考するよう病院を説得。その結果、入院の継続を決めてくれました。確かに業務の範疇を超えた取り組みでしたが、患者さんに最適な環境を提供し、ご家族に喜んでいただけた時は「この仕事をしていて本当によかった」と思いました。今後は、担当エリア内の全施設で「栗原医療シェアNo.1」を実現できるよう、一步一步着実に取り組んでいきます！

Profile

2018年、新卒入社。「賢く、手堅く生きていきたい」と思い、大学では経済学を専攻。就職活動にあたっては「不景気に強く、誰かのためになる仕事」として医療・福祉業界、中でもエンドユーザーに近い栗原医療器械店に入社。ヘルスケア事業本部に所属し、埼玉県の上尾市、桶川市、さいたま市北区・西区の4エリアの営業を担当している。



KURIBARA'S CARTE

ヘルスケア事業本部

ホームケアサポート第二営業部

木村 文也さん

Q1

業務を通じて、
自分の中で変わったことは？

できることを率先して
探すようになりました。

入社前は、「言われたことをやれば良い」と思っていました。しかし、日々の仕事を通じて、常に「自分にできることはないか？」と考えるようになり、あらゆることに主体的に取り組めるようになったと思います。

Q2

オンオフ問わず、
目標とする人は？

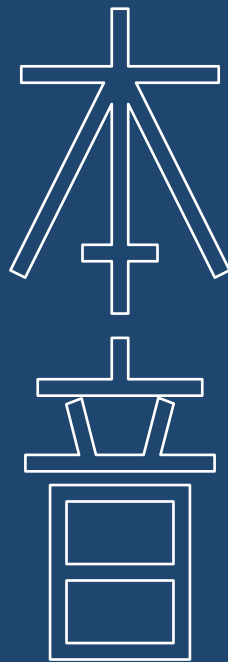
やはり、
池浦部長です！

さまざまな視点での考えや気付き、段取りやスケジュールの立て方、要点を抑えたわかりやすい説明など、とにかく仕事の進め方がスマートで尊敬しています。いつか自分も部長のように仕事ができるようになりたいです！

一問一答

自律／自立

な人の



一問一答形式で、
仕事やプライベートにまつわる
本音を伺いました。

Q1

業務を通じて、
自分の中で変わったことは？

以前より、人に興味を
持つようになりました！

もともと人に関心がなかったわけではありませんが、日々の仕事を通じて、公私ともに相手のことを知ろうとする気持ちが強くなったと思います。実際、友人からも「前よりも話すようになったよね？」と言われることが多くなりました。

Q2

栗原医療の好きなところは？

社員思いで、
優しい人が
多いところです。

栗原医療は「社員思い」で、優しい方が多いですね。代休を取得する際は、先輩の方から「休み中の電話はこっちで取るよ」と声をかけていただいています。ちなみに「MK STYLE」の取材中は、課長が電話対応をしてくださいました。ありがとうございました！

Q3

もし、栗原医療にいなかったら何をしていた？

公務員という選択もあったかも？

「賢く、手堅く生きたい」という思いがあったので、公務員もありだったのかなと思います。ただ、栗原医療も負けず劣らず手堅い選択肢だと思いますし、友人の話を聞いていると、やりがいや環境といった面でも自分は本当に恵まれているなど感じる人が多いですね。

木村さん
の本音



Q4

MK STYLEに
新たに言葉を足すとしたら？

「手堅く」やるから、攻められる

「手堅く」が良いと思います。ベースは手堅く、堅実に守っている部分があるからこそ、いざというところで果敢に挑戦できることもあると思います。

Q3

もし、栗原医療にいなかったら何をしていた？

動物に携われる仕事も
良いなと思ってました！

自分の好きなことを仕事にしたいと思い、一時は動物看護師やトリマーの道も考えました。ただ、自分が働いている姿を想像した時、今の仕事の方がぱっとイメージが湧いたんです。やはり、当時の選択は正しかったと思います。

Q4

MK STYLEに
新たに言葉を足すとしたら？

何事も、計画的に。

「計画的に」はどうでしょうか？ 何事も行き当たりばったりではゴールが見えません。計画に沿って実行することで、いつ、何をいつすれば良いかが明確になり、効率良く進められると思います。

川口さん
の本音



栗原の週末。

「MK STYLE」を実践する皆さんに、
週末の過ごし方を伺いました！



旅行が好きなので、家族や友人と日帰り旅行や宿泊旅行に行っています。また、最近になって2代目の柴犬がやってきたので、休日は毎週のように散歩やドライブをして過ごしています。ゴールデンウィークには、ペット同伴可のグランピングに家族で行く予定なので楽しみです！愛犬がいることで「今日はこんなことをしていたよ」など家族との他愛もない会話が増えたり、犬好きな近所さんとお話したりと新しいコミュニケーションが増えました。コロナが収まったら、北海道へ新鮮な海鮮を食べに旅行へ行ったり、同犬種が集まるイベントなどでいろんな方と仲良くなりたいと思います。



愛犬から広がる 旅行の楽しみ！

IT&ディストリビューション本部
ITマネジメント部
川口 萌香さん



趣味も

しっかり楽しむ！

ヘルスケア事業本部
ホームケアサポート第二営業部
木村 文也さん

休日は、テニスやドライブをして過ごすことが多いです。テニスは、漫画『テニスの王子様』に影響を受けて中学の部活動で始め、高校大学と続けました。現在は、学生時代の友人と一緒に月1回のペースで汗を流しています。将来的には大会などにも出場して、少しずつレベルアップしていきたいと思います。ドライブについては、好きな音楽を流して、景色の良いところにふらっと出かけることが多いです。実現できるかわかりませんが、密かに47都道府県制覇を狙っています。

About,

MK STYLE

栗原医療器械店が掲げた新たな人材像「MK STYLE」。
策定に関わった人たちに、込められた思いやそのこだわりを伺います。

策定に関わった皆さん

ヒューマンリソース統括本部 統括本部長 山田 和弘
社長室 室長 吉野 今久
社長室 総合企画部 部長代理 浅賀 太一
社長室 参与 古賀 広樹
社長室 コーポレートコミュニケーション部 土屋 光

PART

01

自律・自立、柔軟性、リーダーシップ



栗原医療の人材像を共有し、明確で強いブランドを構築する

「MK STYLE」の
策定背景について
教えてください。

創業以来「人を大切にする経営」を続け、人を軸にした事業展開をしてきたものの、そうした思いが社員に伝わっていないと感じ、企業の人材像を明文化すべく取り組みをスタート。2020年に社長提案を行った後、役員への個人面談やさまざまな形式で数十回以上の会議を重ね、ようやく「MK STYLE」が完成しました。

なぜ「自律・自立、
柔軟性、リーダーシップ」が
選ばれたのでしょうか？

「自律・自立」については、VUCAの時代に企業が成長し続けるために、一人ひとりが一人立ちすること（自立）はもちろん、自分で定めた規律に従って行動できること（自律）が必要と考えて採用。一方、「リーダーシップ」「柔軟性」は、若手を中心としたOpinionGroupの検討を通じ、今後の成長に欠かせないキーワードを追加しました。

「MK STYLE」を体現するには、
何を意識し、挑戦をすれば
良いのでしょうか？

まずは、「MK STYLE」の3つの人材像と10の行動指針を知るところから始めましょう。日々の仕事において、自分の行動を「MK STYLE」に照らし合わせ、「学べているか?」「成長しているか?」「導いているか?」と問いかけてください。そして社員同士、良い取り組みを見かけたら、互いを褒めることを忘れないでください。

「MK STYLE」に挑戦することで、
栗原医療はどのように
変わるのでしょうか？

「MK STYLE」の全社的な実践を通じ、どんな社会にあっても「人」の力で成長し続けられる企業でありたいと考えています。最終的には、栗原医療の人を見たら、ブランドを感じてもらえるような企業へと成長していきたいと考えています。